

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和4年度（2022年度）授業研究セミナー

道東・外国語 実施報告



令和4年10月26日（水）、北海道釧路明輝高等学校を会場に「外国語科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）とICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導の在り方」をテーマとして、外国語（英語）科の授業研究セミナーを開催しました。道東ブロックの各管内から、オンライン参加の9名を含む、30名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実施状況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事・研究研修主事3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。学習指導案検討会では、授業者が作成した学習指導案をもとに、①本校や本校生徒の実態に依りて、単元の目標が適切に設定されているか、②目標に準拠した評価規準と、授業中の言語活動からパフォーマンステストまでの流れが適切であるか、という観点で繰り返し協議を行いました。年間を通してどのような資質・能力を育成するために、この時期に、どのような言語活動を、どのようなレベルやステップで行うか、について明確にした上で、指導と評価を行う大切さを再認識しました。

【研究授業】北海道釧路明輝高等学校 野田 由紀恵 教諭

1学年英語コミュニケーションIにおいて、「聞いたり読んだりして理解したことをもとに、情報や考えなどを、論理性に注意して書いて伝えることができる。」ことをねらいとして、研究授業を行いました。本時の授業では、教科等横断的な視点から、SDGsに関連する話題を取り上げ、まずは本文の内容を理解するために必要な「知識・技能」を身に付け



ることを目的に、生徒がノートパソコンやスマートフォンなどの端末を活用しながら、個人ワーク、ペアワークに主体的に取り組んでいました。端末から英文音声を繰り返し聞いて、クラウド上に共有されたワークシートにメモを取り、ペアで協力しながら、理解した内容のリテリングに挑戦していました。ICTを活用して、目標達成のためのスムーズステップが、適切に生徒に与えられていることが印象的でした。

[学習指導案リンク](#) QRコード



【研究協議】「外国語科における探究的な学びとICTを活用した効果的な学習指導について」

研究授業の振り返りとして、授業者からの説明及び質疑応答を行った後、会場及びオンラインそれぞれグループに分かれ、「各校の外国語科における探究的な学び」及び「各校の外国語科におけるICTの活用」を柱に研究協議を行いました。自校



での実践の様子や、課題と感じていることなどについて意見交換するとともに、研究授業を踏まえ、自校で取り入れたい活動について話し合いました。授業者である野田先生をはじめ、授業研究チームの先生方も協議に加わり、活発な協議となりました。まとめとして、運営者より、「令和4年度教育課程編成・実施の手引」に基づいて、指導と評価の一体化の考え方を整理した上で、外国語科における、観点別学習状況の適切な見取り方について説明しました。本セミナーを通して気づいたことや学んだことを、自校での取組に生かしていただくと幸いです。

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 研究授業の前に、授業研究の視点をグループで協議する時間があったことから、より深く多角的な授業研究を行うことができた。
- 説明や協議を通して、探究的な学びとは何かを改めて考えることができた。
- ICTの活用方法の具体例はもとより、ICTの利点は何か、どのような場面で使用することが効果的か、について考えることができた。
- 生徒の実情に即した授業展開や、意図のあるICT活用が非常に参考になった。
- 英語科として探究的な学びや主体的・対話的で深い学びにどう取り組んでいくかについて、様々なヒントを得ることができた。今後の指導に少しずつでも取り入れたい。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 41.7% ・深まった 58.3%
- 2 「ICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 66.7% ・深まった 33.3%